

FOCUS

追いかける。大学生。

滋賀県立大 とよさらだ

耕作放棄地で
野菜づくり

滋賀県豊郷町で、使われなくなった土地を使用して野菜づくりをしている滋賀県立大の学生団体「とよさらだ」。大好きな野菜づくりで、食べる人を、地域を、農業を明るくしている学生たちにフォーカスした。



大根、ねぎ、レタス、水菜……。滋賀県豊郷町の郊外に建つビニールハウスの入り口をくぐると、そこは成育中のたくさんの野菜でいっぱい。安全に食べてもらうため、すべて無農薬。収穫される野菜は、滋賀県立大の学生約20人のこだわりの結晶だ。

地産地消を目指し、収穫した野菜は豊郷町の農協や朝市などに卸す。市場を訪れる地元の人の中には、何度も買ってくれる人もおり、そんな「常連客」との会話は一層弾む。地域の活性化にも一役買っている。今年も、役場などと協力して地元名産の「坊っちゃんかぼちゃ」を使ったジャム作りを行った。旧豊郷小学校舎に次ぐ「第二の豊郷名物」となるべく、町内の農協を中心に各地で売られている。

愛する野菜で 地域を明るく

を使用した小鉢サラダがメニューに名を連ねる。とよさらだの野菜で、メニューもバラエティーが増し、メンバーも皆誇らしげだ。11月11日から開催される学園祭では、ハウスの外にある畑で育てた白菜や、今年初めて収穫したお米を使った豚キムチ丼を売り出すという。

そんなメンバーの野菜を愛する姿勢は人一倍だ。代表を務める政木芽衣さん(滋賀県大・3年)。自宅のある大阪市から2時間かけ大学に通い、暇を見つけては畑に向かう。取材に訪れた日は日曜日。休講日にも関わらず、いつものように畑に向かった。そんな政木さんを囲むのは「野菜と向き合っている姿は子を育てている母親のよう」と口を揃えた。横で大事そうに「子ども」を収穫していた彼女は「いい嫁になってくれよ」とおどけて笑った。

愛情のこもったたぐさんの野菜は次の日、市場へと巣立っていった。
(聞き手＝土井和樹)

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>
■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F
(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは
神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部
関西大学タイムズ編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部
の共同編集による週刊フリーペーパーです